

平成31年 新春号

まはり

酒田市農業委員会報 No.53



「干支 イノシシ」

新年のごあいさつ



酒田市農業委員会
会長
五十嵐 直太郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は集中豪雨、台風等の影響もあり、稲作は作況指数95（やや不良）という作柄となりました。

またTPP11も発効の運びとなり、米の生産調整に関する農政の大転換等とあわせ、農業の環境は相変わらず厳しい状況にあります。丁寧な説明や農家目線での実効性のある政策の実現を強く望みます。

農業委員は、地域農業者の代表としての自覚を持ち、「農地等の集積・集約化」「遊休農地の発生防止・解消」「新規参入の促進」に積極的に取り組んでいく必要があります。大切な農地の適切な管理・耕作により、酒田市農業の振興と発展に寄与する意を改めて強くいたします。

農業は、自然相手のため気象変動の影響を大きく受けます。今年好天に恵まれ、生産者の努力が報われる作柄となることを心より願います。本年も農業委員会一同頑張っておりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



【写真左から】佐藤良平委員、小久保優さん、堀 薫さん、佐藤江里子さん、高橋身依さん、庄司和樹さん、能美智行さん、荘司研治委員

自分の住む地域のことは、

意外と見えないもの…

そこで、フットワークに富んだ若手女性の視点、市外から転入した若者の目線から見た酒田の農業について、農業委員がお話をお聞きしました。

地域との関わり

《農業委員（以下、委員）》庄司さんと能美さんは、昨年はキッチンカーでのランチ販売をしていましたね。

【庄司】地元の方から野菜を分けてもらうことが多く、そのおいしい野菜をアピールしたいと

2019 新春トーク

酒田の農と食 若き力とともに

地域おこし協力隊
&
すくすくあぐりネット

を手伝える人がいればいいと思いました。

【堀】たしかに産直に出荷している方々もそういう年代ですね。でも農業だけの収入で賃金を払うのは難しいですね。我が家でも近年、人手が足りないため畑を委託したいと頼まれることがありました。水稲では共同の作業や機械はあっても、野菜にはないですね。

【高橋】浜中では、繁忙期に手伝いに来てくれる近所の方々はいます。ご高齢ですが、すごく作業のスピードが速くて正確です。とても頼りにしていますが、そういう方の代わりがいるのか考えると心配になります。

【庄司】中学・高校生が関わるといいなと思います。若いうちから職業選択に農業を知ってもらおうのはいいと思います。

【高橋】ただ私の場合、卒業後すぐの就農は考えませんでしたね。いったん外に出るのも視野が広がっていいと思います。

【堀】農業以外の仕事を経験するのは、仕事の発想や結婚相手なども含め、人脈が広がっていいと思います。

思ったんです。

【能美】前職が飲食店の料理長だったことをいかして、食べきれないほどいたたく地元野菜を使ってメニューを考え、イベントなどで提供しました。

【庄司】野菜集めをしているときに、1人暮らしの方や高齢の方が畑作業をしている姿を見て、誰か作業

地域おこし協力隊

現在、酒田では今回の3名を含め5名が活躍中。

市内に一定期間居住して、地場産品のPRや地域協力活動を行う。



〈平田地区〉
能美 智行さん

Tomoyuki Nomi



〈松山地区〉
小久保 優さん

Masaru Kokubo



〈八幡地区〉
庄司 和樹さん

Kazuki Shoji

酒田の農業の印象

《委員》市の外側から見た酒田の農業はどういう印象ですか。

【能美】転入前の千葉では、朝早くから畑仕事をしているような方は見かけませんでした。こちらは、みんな元気だと思いました。でも農業継続の課題などの実状を知ると、地域おこし協力隊として今後、何かできないかと考えているところです。

【小久保】インターンで神奈川から来るまでは、農産物がどうやって作られるかや実がなる姿も全く知らずにいたんです。でも水田に囲まれた生活と畑の手伝いなどで土や地元の方に触れていくうちに、農家の人手不足や世代交代など、先を見据えた農業の深刻さを知りました。酒田では、男性は田んぼにいて、女性は畑にいるイメージがあります。

直売所の活動

《委員》直売所の活動もありますか。

【佐藤】我が家では、野菜や花は直売所出荷が中心です。JAにも出しますが、規格外などを残さないように直売します。うちの新堀地



市役所の駐車場で（平成30年秋）

区では稲作が中心なので、直売の取り組み方は他の地区と違う気がしますね。

また直売所の高齢化問題はどこでも直面しているらしくて、後継者のことや高齢化対応の販売戦略などを研修しています。

【高橋】出荷する品物の価格設定も難しいですね。野菜の市場価格が高騰中でも、他の農家との兼ね合いで、値段を上げられないときもあります。

《委員》値段を上げて、売れ残っても困るでしょうね。

【高橋】実はそうでもないんです。イチゴは品種で手間や経費が変わ

るんですが、思い切っていないつもりで値下げしないで置いたら、意外と売れたんです。直売所の高品質を期待する心理もあるようです。

【庄司】秋に地域おこし協力隊みんなで農林水産まつりに出展しました。そのときの野菜提供者さんから、産直やイベントに出す野菜の価格は都会の相場の半値程度になると聞きました。地元で採れるものを高い値段にするのは、ためらうらしいです。でも私は乾燥キクラゲだったこともあり、あえて安くしないで売りました。加工やストリーを付け加えることで、可能性が広がると思います。



南部コミセン(松山)の喫茶コーナー



佐藤 江里子さん

Eriko Sato



堀 薫さん

Kaoru Hori



高橋 身依さん

Mie Takahashi

すくすくあぐりネット

現在メンバーは、子育て世代の16人。市役所等でのマーケットを月1回開催するほか、「おやさい定期便」を横浜市の利用者へ宅配している。

【堀】包装やラベル、それにシール1枚でも違いますよね。

【庄司】直売所のみんなが共通で使えるコメント表示などを用意するのもいいと思います。

【佐藤】コメントは絶対つけた方がいいです。子育て世代のアンケートでは、食べ方やメッセージがある方が買う気になるそうです。でも、実際うちの直売所でも全員がつけるわけではないですね。

広がる夢と可能性

《委員》今後の目標や希望などはありませんか。

【堀】少ない収穫物でも販売までコーディネートしてくれる方がいるといいですね。また採れたての野菜を提供する農家レストランをやってみたいです。そして、我が家の農業全般を引き受けられるようになりたいです。

【高橋】私は6次産業化を目指しているのですが、誰でも使えて販売ができる公共の加工施設があるといいです。

【佐藤】私も動物性タンパク質不使用のお菓子作りをしたいので加工所はいいですね。おにぎりの販売もしたいです。いつか子どもにも



市の「サンロク」にて対談

就農してもらえるように、自分がキッチンと農業に取り組んでいきたいです。

【庄司】自分はUターンなのでこれから酒田にずっと住み続けていきます。また農業の担い手確保には、学生など若いうちに一度は農業の経験をさせることが、いつかは就農につながるかもしれないと思います。

【小久保】今、地区のコミセンで喫茶店と月1回居酒屋もやっています。規格外の野菜などを買い取って食材調達していて、これを広げていきたいです。

【能美】私も規格外野菜での調理・販売を続けて、地域の若い方達とも組んでやっていきたいです。また65歳くらいの方の移住を増やして、第2の人生ネットワーク作りのようなものができたらと思います。

【高橋】今、「すくすくあぐりネット」の代表をしていますが、外に出にくい子育て世代だからこそグループに加入して、つながりや相談相手を作って欲しいと思います。そして、だんだんと発信力と影響力を持てるようなグループにしていきたいと思っています。

《委員》とても楽しくパワーのあるお話ありがとうございます。これからもご活躍を期待します。



ファーマーズマーケットは大盛況

市長への意見書提出



～ 酒田農業の将来像を描いて ～

農業委員会等に関する法律に基づき、農地等利用最適化の推進に必要があると認めるときは、関係行政機関等に意見を提出するとの規定を受け、去る12月7日、丸山市長に意見書を提出しました。

これに先立つ9月26日に市の農林水産部長、農政課長、農林水産課長と意見交換を行い、そこで抽出されたテーマについて市長に提出したものです。

提出した意見は次のとおりです。

●スマート農業の推進

(ICTの活用)

ドローンによる土壌分析など、ICT等の先端技術導入による省力化・低コスト化を図るためにも、スマート農業の取り組みを推進していただきたい。

●成功者事例発表会の開催

農業経営の高収益・低コスト化が必要である。

技術向上と販売先の確保、経営管理等のため、農業者が自発的に企画・運営に参画する成功事例発表会と交流会を開催することについて支援いただきたい。

●拠点施設の整備

酒田農業のブランド力アップのため、山居倉庫周辺に拠点となる直売所や農家レストランの整備、加えてUIJターンの含めた新規就農者向けワンストップ窓口の整備を検討願いたい。

平成31年度 酒田市参考賃借料

(10a当たり)

農地	区分	平成31年度	平成30年度	基準収量
田	1	11,000円	12,000円	600kg
	2	9,000円	10,000円	580kg
	3	6,000円	7,000円	550kg
	4	3,000円	4,000円	520kg
	5	1,000円	1,000円	480kg
畑		4,000円	4,000円	

酒田市農地集積センター参考賃借料検討協議会 作成

※あくまでも参考の金額ですので、委託者・受託者双方で相談して決定してください。

※大豆・飼料用米等を加味した額となっています。

※土地改良区の償還金があるところ、変形田、中山間地等の作業環境が悪いところについては、委託者・受託者双方で相談して決定してください。



農業委員会と五十嵐会長に 農林水産大臣表彰

この賞は、「農地等の利用の最適化の推進」に関し、顕著な実績をあげた農業委員会並びに他の範となる顕著な功績のあった農業委員に対し授与されるものです。

このたび、本市農業委員会の担い手への農地集積・集約化や遊休農地発生防止・解消等に努めた取り組みや成果が高く評価され、受賞となりました。

今後も農業委員会では、更に地域に根ざした活動に努めていきます。

農業者年金に加入しましょう

老後の生活をしっかりサポートします。
農業に従事する方なら、広く加入いただけます。

農業者年金

へは…

国民年金
第1号
被保険者
国民年金保険料
納付免除者を除く。

年間
60日以上
農業に従事

60歳未満

の方ならどなたでも加入できます。

キラリな女性

…かがやく
女性農業者



初めての農業



袖浦地区
佐藤 可南子

「株はなはな」に入社して3年目になりました。カラーやユリ、アルストロメリア等の花卉と、ミニトマト、里芋等の野菜を生産しています。

入社するまで農業は未経験でしたが、会社の指導のおかげで毎日充実して楽しみながら働かせていただいています。

求職中は、農業という選択肢は頭になかったのですが、就農してからはとてもやりがいがある仕事だと実感しています。従業員も若手社員が多く、皆いきいきと働いています。

3年目になったといっても、まだまだわからないことだらけで、指示された事をこなすのでいっぱいな状況ですが、少しずつ1人で

出来ることも増えてきました。

現在は主にカラーを担当させていただいています。地元の花屋さんでもあまり取り扱っていないので、若い方だと知らない人も多いのですが、生産量日本一を目指し、酒田と言ったら「カラー」と言ってもらえるように、日々学びながら、楽しみながら精一杯取り組んでいきたいと思っています。

家庭では2児の母です。前職では家庭と仕事の両立に悩んだりもしましたが、理解ある会社と周りのサポートのおかげで働けるんだと感謝を実感する日々です。

農業という職業を知っていたとき、もつと若い方々にも興味を持ってもらえるようになればいいなと思っています。



たくさんの花に囲まれて



私は、今年で就農13年目になります。私の家では水稲、そばを作付けしています。昔から水稲を中心とした経営をやっています。

私が就農したきっかけは、父親から誘われたためです。小さい頃から農作業は手伝っていたので出来るのではないかと、何気なく軽い気持ちで始めました。

1年目は、旧藤島町にある農業試験場に週3日ほど通いながら、家の仕事をしました。今まで水稲について勉強してこなかったもので、いろいろと学ぶことができ大変良かったと思います。

2年目以降は、酒田市の青年クラブに入り、同じ仕事をする

地域と共に

松山地区 佐藤 清隆

同世代の人達と農業の大変さやいろいろな情報を交換できたので、自分のためになることがたくさんあったと思います。

私が思うに、農家は家族経営が多いように感じます。家族だけではいろいろな情報が入ってこないため、若い世代の人達は地元の青年クラブや地域のコミュニティなどを利用して、交流すると良いと思います。そして、地元を盛り上げていくこともできれば良いのではないかと思います。

農業は、地域とのつながりが必要だと思います。しかし今、私の住んでいる集落では同世代で農家をしている人が、ほほいしない状況です。

そのような中で今後、農業を続けていくには、たくさんの人達と情報交換をして、若い世代も農業をすることが出来る環境を作らなければいけないと思います。そして、今ある農地をどのように守っていくか考えて実行することが私の目標になっています。



農業委員がおじゃましてお聞きしました！

大町
白畑 三也 夫妻
ふさ子



三也さん(83歳)とふさ子さん(85歳)は、近所でも評判の働き者のご夫妻です。現在、後継者とともに17畝の稲・飼料米を作付けしています。

三也さんは何にでも興味を持ち、農業のほかにも機械や車の整備、木の伐採などこなしてきたとのこと。いろいろと工夫することから、機械修理の依頼人からも喜ばれたそうです。

地区ではコンバインを最初に導入。作業が早く終わるため、他の方々からの受託が段々と増えていき、共同の機械導入になっていったそうです。

ふさ子さんは以前は2キ程離

れた畑に毎日自転車を通い、取れた野菜を行商していたのと。足を痛めた今は、自家用の畑作を楽しんでいるそうです。

また三也さんは写真が趣味で、時間を作って撮影に出掛け、庄内地方の各所の四季を撮り続けているそう。ふさ子さんの出身地である八幡地区の滝や春夏秋冬を撮った写真は、コンテストで入選したほどの腕前です。

ふさ子さんの方も演歌好きで、歌うことがお得意だそうです。

仕事も趣味も一生懸命なお二人。「体を動かさねば、ダメだ」の言葉に納得させられます。これからも、どうぞお元気で活躍ください。



～ 好奇心が若さの源 ～

(白畑ちか子委員)

短 信

農地調査委員長・副委員長が代わりました

12月14日、農業委員会の定例総会において、農地調査委員会の委員長に飯塚将人氏、副委員長に庄司隆氏が就任しました。

農業委員会での 証明書発行は余裕をもって！

次の証明書は、これまで申請と同日に発行していましたが、今後は農業委員会で農地の状況等を確認してから発行となります。数週間の時間がかかりますので、余裕をもって申請をお願いします。

【証明書の種類】

- ① 引き続き農業経営を行っている等の証明(相続税・贈与税)
- ② 特定の事業用資産の買換え証明
- ③ 納税猶予に関する適格証明(相続税・贈与税)

ご存知ですか 家族経営協定制度

農家世帯では家族経営が多く、賃金や仕事の役割分担が明確でないことが多いものです。

家族経営協定とは、家族みんなが意欲的に働くことができる環境整備等の内容を、家族間で十分に話し合ってから取り決めるものです。やりがいを持って働くため、家族経営協定を結びましょう。

● 取り決め内容の例

- ・ 経営方針や役割分担
- ・ 家族が働きやすい就業環境
- ・ 賃金(家事分も含めて)

農地の売買・貸し借り、転用には許可が必要です

目的	区分	必要な許可等	締切日
耕作目的	貸し借り・売買	農地法第3条 許可 または 農用地利用集積計画	毎月20日
		農地法第4条 許可	毎月25日
転用目的	自己転用	農地法第5条 許可	
	買って(借りて)転用		

○農地法以外の法令の規制を受ける場合がありますのでお早めにご相談ください。
○手続・問合せ先：農業委員会事務局／各総合支所 建設産業課

農事組合法人『アグリ青沢』 ～八幡地区～

代表理事 齋藤新一

○名前の由来

集落営農組織があったときからの名前を継承しました。

青沢地区は荒瀬川の最上流に位置し、生活雑排水が一切入らない清流の水と豊かな自然に恵まれています。その「青沢」という名称を、法人名にも入れました。

○経営内容

構成員12名／経営面積26畝
主な農産物 米、大豆



○設立の経過

中山間地であり、担い手の減少が目に見える中、地域農業の継続に危機感を抱きました。ちょうど政策的に集落営農組織からの切り替え時期であったことから、ミニライスセンターの構成員と農機具を保有する中核農家とが一緒になり、平成28年1月に法人を立ち上げました。

その際、米を加工しおかゆの缶詰にして販売するなどの新たな事業にも取り組みました。



おかゆの展示販売

○これからの抱負

他の地区から少しずつ作業依頼もきています。労働力が不足しがちなので、効率よく共同作業できる形態を考えていきたいと思っています。

また専業・兼業問わず、構成員全員で地域農業への同じ意識をもってこれからも進めていきたいと思っています。

表紙の写真



松山地区
長堀みさ子さん

全て天然の素材で作られています。「古代米」の稲を使って、注連縄と同じ3本左向きでより合わせてあります。

編集後記

「平成」最後の年です。皆さんにはどんな「平成」時代でしたか？

この30年で日本の農業は大きく変化しましたが、みんなが酒田の農業を支える、多様な担い手の1人だったと思います。

昨年11月に山形県内各所での開催となった「第21回全国農業担い手サミット in やまがた」に参加しました。その席上で見た、これからの農業を担う若い担い手の方々は、自信と誇りに輝いていました。

第1回の酒田市開催では、躍動的な若さに溢れていたように思いました。今回は肅々とした落ち着いた雰囲気でしたが、農業に携わる若い担い手たちの熱意は、当時と全く変わっていないと思いました。

「若いうちは自身の経営を追求して、より自立していくことが、ゆくゆくは地域や子ども達に魅力的な農業につながるのでは」と締めくくった山形大学の小沢教授の言葉が印象的でした。酒田でも若い担い手たちの元気な姿が見られます。新しい年の始まりに、若者の未来を信じ、応援したいと思います。

(つづい)